

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 5 年 2 月 7 日

事業所名 児童デイサービス・シリウス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		個別対応可能な部屋がある	基準をクリアしているが、広い空間により更の活動の幅は広がるとは考える。
	2	職員の配置数は適切である	4			毎月 職員配置の確認、加算確認表に基づき実施
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			玄関等の段差なし、トイレ内の手すりあり。手すりを新たに設置した。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			社内研修、責任者研修など定期的を実施している。各スキルにより学習内容などの工夫している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	△2		保護者アンケートに基づく検討会を実施。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			年に1回ホームページに掲載、通信に掲載
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		課題の一つである。第三者評価を取り入れる事が好ましいと考える。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		社内SNSで講習情報を日常的に通知。	内部研修は1か月に1回の開催。 外部研修は1年1回義務付けている。資格取得をバックアップ。研修内容は社内提示版に提示(WEB)
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			6月1月に必ず実施、随時計画の見直し、会議を実施。ケース会議はすべての児童1か月に1回実施。情報を共有。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			事業所独自のケース記録あり。検討、モニタリングを定期的 に実施。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			日案に基づき、作成者、職員、チームで意見交換実施。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			集団活動などは児童の通所の状況に応じて変更、工夫している。学習、仕事、体遊び、SST・・・など
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			下校時には限られた時間内で集団活動を立案し、長期休暇や週末は外出などの実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4			日案に個別支援を記載。随時職員も把握できるように、室内にも提示。必ず実行できるように意識付け。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		必ず朝礼から1日を開始する。	全職員が集まり次第朝礼を行い、前日の情報、当時の予定確認、想定事業を情報共有している。出勤していない職員はWEBにて引継ぎ内容が確認できるようになっている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			業務終了後は日報に入力、帰宅後、休暇時にも確認できるようにサーバーに保管。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			業務終了後は日報に入力、帰宅後、休暇時にも確認できるようにサーバーに保管。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			全児童のケース会議は1か月1回行い、ケース記録にて共有できるようにしている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	2	△2		職員はガイドラインをすべて確認済である。入社時研修時にも導入。	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			各児童に担任を設定。支援の進捗、日々の支援を担任は率先して把握し、ケース会議にも参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			学校の行事、参観などの見学を実施。送迎時間は事前に保護者、学校に確認を行い、必要に応じて決定した送迎時間は書面を学校に提示している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		△1×3			現在医療的ケアが必要な児童の契約がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		△4			今後の課題。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4				卒業時に保護者とサポートブックを作成し、お渡しできるようにしている。卒業後様子の確認、必要性に応じて見学を実施している。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		4			現状取り組めていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4			感染症によりリスクが高い為、実施できていない状況。今後の課題である。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		△2×2			2022年はコロナ感染予防対策として外部との接触を最小限に制限した為実行できなかった。平野区デイサービス連絡会議には定期的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				日々の活動、健康状態などは連絡ノートを通して保護者に報告。6か月に1回保護者と面談を実施し課題を共有している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	△2			外部研修会などの案内を通知している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				契約時に書面提示の上、説明を実施に、単価改正など必要に応じて書面にて説明を徹底している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	△2			連絡帳の保護者コメントに通常記入しない文面などの異変や、送迎時に保護者様との会話の中で変化が見られる場合は情報を共有し、管理者が連絡、面談などの提案をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	△1			保護者対象をした学習会を実施。2022年は”性教育”研修会を実施した。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4				スタッフ間の連携の中で、管理者が適切に判断して保護者様へのアプローチを実施している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4				月に1回通信を発行。法改正や情報発信を定期的に行っている。活動内容は個人情報に留意しながらWEB(タイムライン)にて掲載。
	35	個人情報に十分注意している	4				ホームページやタイムラインの写真公開には年に1回写真掲載に關しての同意書を保護者にいただき、遵守して。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				必要に応じてルビ表示やひらがな表示にて連絡ノートなど、各種書類(通信)を発行している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4			今後の課題。開催にあたり、コロナの問題も同時に課題

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			契約時に地震等の対方法案内を文書にて交付している。BCP作成済。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			年間計画に基づき、避難訓練を定期的を実施。災害伝言板体験日には保護者様に確認して頂けるようにして。毎月15日に実施(土日祝は除く)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	△2		拘束に関しての同意書は対象児童保護者様に書面にて提示、同意頂いている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			上記同様。職員も書面にて確認。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3		保護者のみの確認となっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		サーバーでの情報共有	ヒヤリハット情報共有会議を月に1回行うが、日々の日報にて、その都度確認できるようにサーバーにて情報保管実施。再発防止に努めている。

※△はどちらともいえない場合